



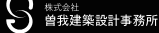
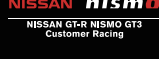
NILZZ

RACING FACTORY

MOTEGI GT 300KM RACE

2024 AUTOBACS SUPER GT Round.8 RACE REPORT

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2024 GT300 クラス	公式練習	: 2'06.097 (GT300 クラス 20位)
エンタラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 2'03.145 (GT300 クラス 19位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2 L15	: 2'07.866 (GT300 クラス 13位)
マシン名称	: 脱毛ケーズフロンティア GO&FUN 猫猫 GT-R	公式予選	: 2'07.866 (GT300 クラス 27位)
ドライバー	: 井田太陽 / 柴田優作	決勝	: GT300 クラス 21位 (56周)
開催地	: モビリティリゾートもてぎ (栃木県)		
開催日	: 2024.11.2~2024.11.3		
天候	: 雨 (11.2) 晴れ (11.3)		
イベント動員数	: 12,300人 (11.2) / 30,000人 (11.3)		





11月2日から3日にかけて、SUPER GT 第8戦”MOTEGI GT 300KM RACE”が栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催された。

このモビリティリゾートもてぎはNILZZ Racingにとってホームコースとも言えるサーキット。

シリーズ戦もいよいよ終盤となり、この重要な一戦にNILZZ Racingは井田太陽、柴田優作の2選手をエントリーさせた。

11月2日(土) 公式練習

後半戦に入り、悪天候に見舞われることが続いた今季のSUPER GTだが、今回も朝から強い雨が降っていた。

予定通り9時00分から行われた公式練習だったが、雨量が非常に多く、NILZZ Racingはコースコンディションが回復するまで、しばらくの間ピットの中で様子を見ていた。

セッション開始からまもなく1時間を過ぎようとした頃、NILZZ Racingは井田のドライブによってようやくコースイン。しかし雨量が増え、井田はすぐにピットへと戻ってくる。

その後柴田もコースインするが、コース上は非常に厳しいコンディションが続き、幾度と赤旗中断となる。

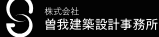
セッション終盤、GT300クラスの専有走行としてセッションが再開されるが、雨量の増加により5回目の赤旗が提示。コンディションは回復せず、10時25分にセッション終了となった。

NILZZ Racingはこの大雨の中、今回の公式練習をわずか4周のみ計測するにとどまったが、柴田の2分06秒097がチームベストとして記録され、GT300クラス20位という結果となった。

11月2日(土) 公式予選

午後になっても雨が収まる気配を見せず、午前中に引き続きウェットコンディションとなった公式予選。

公式予選Q1のアタックドライバーは柴田が担当した。





コースイン後から慎重にペースを上げていく柴田。2分6秒319までタイムを更新していくも、開始12分後に雨量の増加により赤旗が提示。セッションは中断となる。

14時35分、コース状況が少し回復したことにより、予選Q1は残り時間10分で再開となった。

再開後、柴田はペースを上げ、計測9周目に2分03秒145まで縮め、更にタイムアップを目指してアタックを続けた。翌周、セクター1~3まで自己ベストを更新していた柴田だったが、ここでコース脇にストップした車両が出てしまい、赤旗が提示されてしまった。

予選Q1はこの赤旗をもって終了となり、GT300クラス19位で続く予選Q2はL15グループでの出走が決定した。予選Q2は井田が担当した。

予選Q1より短い10分間で争われる予選Q2で、井田はまだコース上の水量が多く、非常に滑りやすいコンディションの中、計測5周目に2分07秒866までタイムを縮め、予選Q2L15グループ13位となった。

ウェット宣言が出された予選では、Q2の順位をもって順位が決まるため、NILZZ Racingの第8戦予選結果はGT300クラス27位となった。

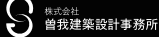
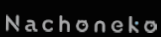
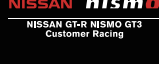
11月3日(日・祝) 決勝

予選日の悪天候から一転、むかえた決勝日は雲ひとつない秋の空が広がった。

警察車両によるパレードラン、フォーメーションラップを経て、13時07分に決勝レースがスタートした。

NILZZ Racingは井田がスタートドライバーを担当。300kmというレース距離のため、序盤から激しい戦いが随所で見られる中、井田も上位への浮上を目指して周回を重ねていった。

6周目、7周目と立て続けにトラブル車両排除のためフルコースイエロー (FCY) が導入されたが、井田はこのFCYで80km/hまでの減速が遅れたということで、ドライブスルーペナルティが言い渡された。



井田は 19 周目にこれを消化。その翌周に規定のピットインを行った。

ピット前に停車後、素早くタイヤ交換作業を行っていたが、その最中に左側のインパクトレンチにトラブルが発生してしまった。トラブルに対処し、ピット作業を全て完了させたが、大きくタイムをロスしてしまい、前車とのギャップは大きく開いてしまう事となった。

コースに復帰後は柴田のドライブによって周回を重ね、56 周を終えたところでレース終了のチェッカーフラッグを受け、GT300 クラス 21 位で第 8 戦完走を果たした。

今回の予選は大雨によって、決勝は予期せぬトラブルによって私達には非常に厳しいレースウィークとなってしまいました。

次戦は今季最後のシリーズ戦となる第 5 戦鈴鹿大会が 12 月 7 日～8 日に行われます。

今季のベストレースとなる様、最後まで努力し続けますので、引き続き皆様のご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

